

事務事業 No./名 称	□サービス部門 教総-27 教育課題対応事業(中学校) ■支 援 部 門					ザイムスコード及び個別事業名		
						1238	地域の中の学校教育の推進(小学校)	
主管課	教育指導課				関連課	1240	研究・研修促進事業(中学校)	
分野名	学校教育							
目標 (目標値)	地域に根ざした特色ある学校づくりを目指すとともに、教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図る							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯	・各年5月1日(学校基本調査)				
	児童数	3,046人	2,940人					
運営資源 状 況	決算値	1,749千円	1,603千円					
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	1,749千円	1,603千円					
	人員配置数	0.4人	0.4人					
	人 件 費	4,060千円	3,925千円					
	協 働 の パートナー	各学校・中体連・中文連・研究会部会他	各学校・中体連・中文連・研究会部会他					
事務事業 運営経費	総事業費	5,809千円	5,528千円					
	市民1人当 りの経費	33円	31円					
	対象者1人 当りの経費	1,907円	1,880円	※ベンチマーク 平成21年5月1日 学校基本調査より				
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	鎌倉市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市		
	公立中学校数	9校	3校	19校	13校	15校	20年度	9校
	公立生徒数	3,046人	1,118人	10,096人	5,724人	6,783人	21年度	9校
	公立学級数	98学級	39学級	302学級	169学級	222学級	22年度	9校
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・研究テーマを指導方法の改善、小中連携、新教育課程移行に向けて等、今日的課題に対する取組 としたい。 ・小学校と中学校との連携をさらに進める必要がある。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・各中学校区において小中連携の取組の充実を図った。 ・小中一貫教育を推進するため、小中一貫教育検討委員会を設置し、基本方針の検討を開始した。 ・学校訪問の際に、校内研究についての意見交換及び助言指導を行った。 ・特色ある学校づくりの取組と連携を進めることができた。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・小中一貫教育基本方針骨子(案)の作成。なお、小中一貫教育については、新たな事務事業として 評価していく必要がある。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・新教育課程の円滑な実施に向けて指導・助言を行う。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	研究校において指導方法の工夫改 善、小中連携、新教育課程移行に向 けて等、今日的課題を研究テーマと し、その成果を全市的に発信するよう にしたい。			評価結果	改善の必要性	地域に根ざした特色ある鎌倉の教 育を推進するために、今後も学校教 育の充実と円滑な学校教育運営に 努めたい。	
B	有				B	有		
課長名		教育指導課長 八神陽介			部名・部長名		教育総務部 宮田茂昭	